

麻生内閣誕生！ 難局打開へ

麻生太郎衆議院議員が第92代内閣総理大臣に指名されました



今月24日に第170回臨時国会が召集され、麻生太郎衆議院議員が内閣総理大臣に指名されました。麻生新首相は、福田康夫前首相の辞意を受けて、今月22日に自民党の新しい総裁に選出され、24日に総理大臣の指名を受けました。通算59人目、第92代の総理大臣になります。

麻生内閣は、極めて厳しい状況下の船出となりました。拡大を続けていた国内

の景気が後退し、原油や小麦、大豆といった海外からの輸入に頼っている必需品は相変わらず高値圏にあり、それ以外の物価全般も上昇しています。また、事故米の流通等食品の安全性を巡る問題や、社会保険事務

(裏に続きます)

所による厚生年金の標準月額報酬の改ざん問題など国内には問題が山積しています。

一方、海外に目を転じてみても、アメリカ発の金融不安が拡大して全世界に大きな影響を与えています。アメリカでは住宅バブルが崩壊し、住宅価格が大幅に下落、住宅ローンを証券化した商品を多く抱えていたアメリカの大手金融機関の経営危機、経営破たんが続いています。現代ではアメリカの金融危機は、アメリカだけの問題ではなく、その影響は全世界に及びます。日本の金融機関とて無縁ではありません。日米欧の中央銀行や各国政府はアメリカの金融危機が世界的な経済恐慌につながるないように密接に連携を取る必要があります。

国会に目を移せば、相変わらず衆参のねじれ状態が続いています。しかしながら今私たちの目の前にある諸問題は早急に対応しなければならない問題ばかりです。疲弊している地方経済や中小企業向けの経済政策は、その中でも特に緊急性が高いとても重要な課題です。将来的な経済成長を促す構造改革は引き続き継続する必要があります。しかし、経済成長の果実を得るにはまだ多少の時間が必要です。果実を得る前に日本自体が倒れてしまったら元も子もありません。それゆえ今は後退している景気を回復させることが最優先の課題です。

同時に今様々な不安が私たちの生活を襲っています。特に近年の食の安全性に対する不安を解消することは、景気対策と同じくらい重要な課題です。また年金制度や医療制度の信頼性、安心の回復もまた欠かすことができません。麻生氏を支えてきたおこのぎ八郎さんは、「新内閣は、与党と一体になってこれらの課題に全力で取り組む必要がある。少し耳の痛い話であっても新内閣にはどんどん注文をつけていきたい」と意欲的に語りました。

おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町 1 - 7 - 1

TEL: 0 4 5 (3 2 3) 6 0 0 0

FAX: 0 4 5 (3 2 3) 2 9 7 4